

東海シニアO60リーグ立ち上げとその歴史

1. 立ち上げの背景

日本サッカー協会主催の**O50**(2002年)及び**O60**(2009年)の大会がチャンピオン大会になった事により、全国大会を目指す個人・チームの登録が増加した。一方で登録をしたものの年1回のチャンピオン

大会のみでは、シニアが日常的にサッカーを楽しむには程遠く、地区協会は登録に見合った何らかの活動改善が急務となり、その第一歩として東海シニア**O60**リーグが設立された。

(静岡県では他県に先駆けて県シニアリーグが定着)

2. 支援を受けながら定着

立ち上げと同時に日本協会「シニア支援制度」の適用を受ける、その後支援が無くなると同時に西日本OB連盟中部地域からの支援を受け継続。

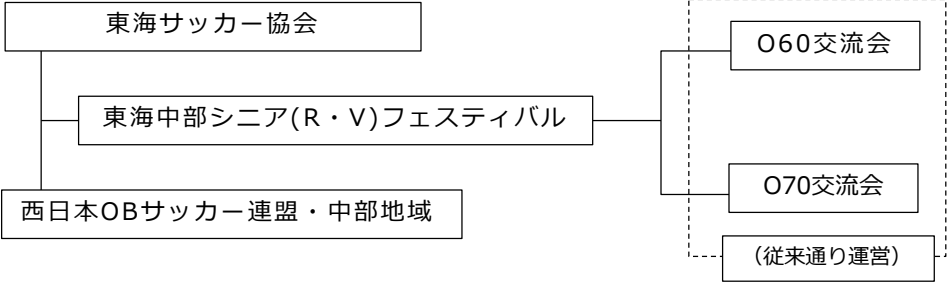
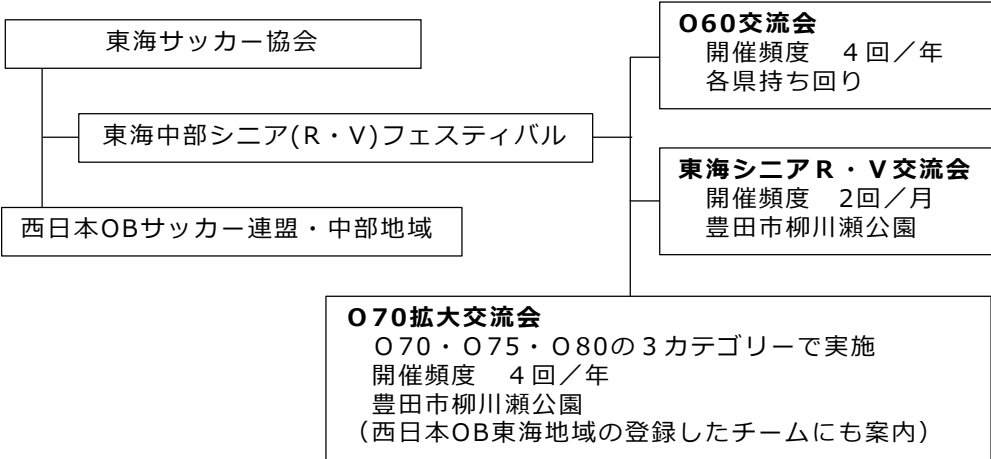
3. 現在

立ち上げ時とは大きくニーズが変化した。各県シニアリーグが充実してきた現在、今後は元気なO70が生涯サッカーを目指せる、O70/O75/O80の活動の充実が期待されている。

また、近い将来に日本協会主催のチャンピオン大会開催を心待ちにしている人も多い。

4. 歴史

年 度	内 容
2008年	「東海シニアO60リーグ」 スタート 主催：東海サッカー協会（シニア委員会） 頻度：4回／年 静岡・愛知・岐阜・三重の4県で持ち回り開催 支援：日本サッカー協会 シニア支援制度活用
2009年	前年と同様の活動
2010年	前年と同様の活動 * O70から活動編入の要望があったが、会場・時間の問題で対応出来ず。
2011年	名称変更 「東海シニア交流会」 理由：O70の交流会を新設したことにより名称を変更 <pre>graph LR; A[東海シニア交流会] --> B[O60リーグ]; A --> C[O70交流会];</pre> <p>(従来通り)</p> <p>(O60も運営の手伝いを前提に参加可) * 開催日：2回／月 * 場 所：豊田市柳川公園グラウンド</p> <p>* 日本サッカー協会のシニア支援制度終了となる</p>

年 度	内 容
2012年	<p>前年と同様の活動</p> <p>* 西日本OB連盟中部地域から活動支援を受ける (背景) 東海4県のチームは「日本サッカー協会登録者」でもあり「西日本OB連盟中部地域」への登録者でもある。</p>
2013年	<p>前年と同様の活動</p>
2014年	<p>名称変更「東海中部シニア(R・V)フェスティバル」</p> <p>理由：東海サッカー協会と西日本OBサッカー連盟との共催にした。</p> <p>* 東海サッカー協会（日本サッカー協会）と西日本OBサッカー連盟双方に加入している以上、垣根無く「協合」してシニアサッカーをエンジョイが優先。</p> <p>*名称に中部と入れることで、福井県・石川県・富山県・長野県の西日本OBサッカー連盟登録チームの対象が広がった。</p> 
2015年	<p>O70交流会の充実</p> <p>「O70・O75・O80」の3カテゴリーに分けて、同年代で楽しめるようにする。 (開催頻度 2回/年)</p> <p>(主旨) 東海サッカー協会、西日本OBサッカー連盟の他各地ではじまっている生涯現役を实践するには同年代と集うのが理想。</p>  <p>O60交流会 開催頻度 4回/年 各県持ち回り</p> <p>東海シニアR・V交流会 開催頻度 2回/月 豊田市柳川瀬公園</p> <p>O70拡大交流会 O70・O75・O80の3カテゴリーで実施 開催頻度 4回/年 豊田市柳川瀬公園 (西日本OB東海地域の登録したチームにも案内)</p>